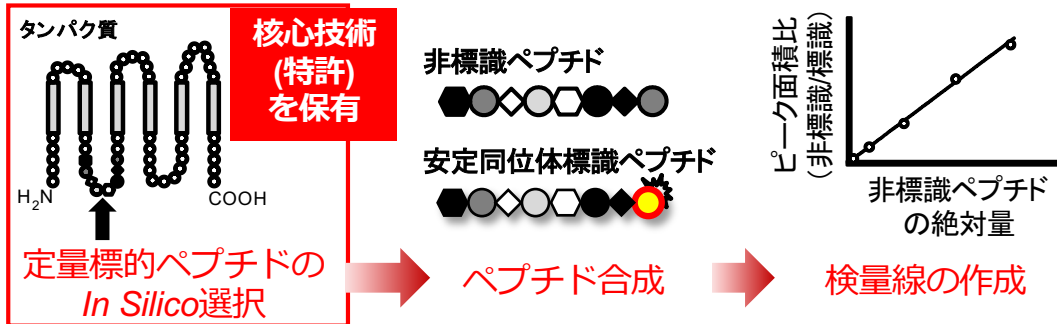


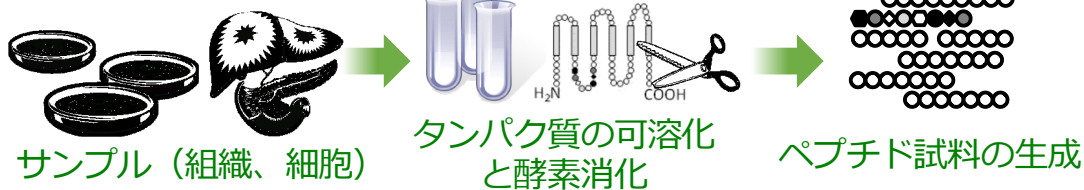
質量分析装置を用いた 標的タンパク質の絶対定量プロテオミクス技術



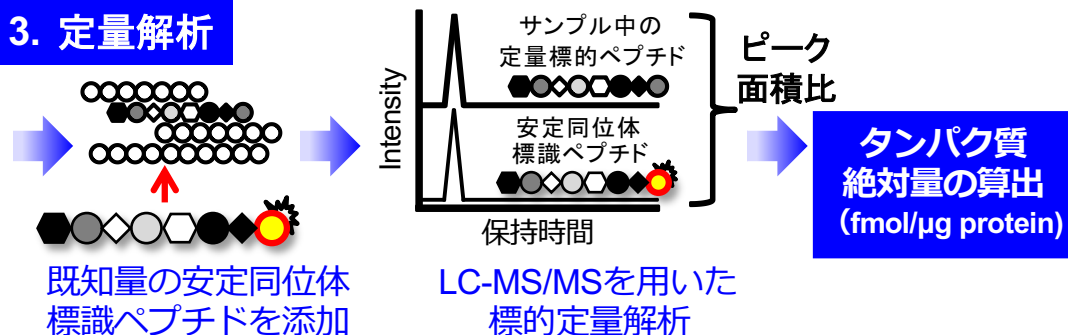
1. タンパク質アミノ酸配列から定量標的ペプチドの選択と検量線の作成



2. サンプル調製



3. 定量解析



技術内容

- タンパク質の絶対発現量を測定する技術
- あらゆるタンパク質に適用可
- 高感度・迅速・多分子一斉定量

どう役立つか

- 創薬シーズ探索
- バイオマーカー探索・定量
(早期診断や個別化療法など)
- 薬物動態予測

開発・推進

東北大学大学院薬学研究科 薬物送達学分野 (寺崎研究室)

参考資料等

特許「質量分析計を使った膜タンパク質の定量方法」特願2007-544097、登録第4670060号

Kamiie J, Ohtsuki S, Iwase R, Ohmine K, Katsukura Y, Yanai K, Sekine Y, Uchida Y, Ito S, Terasaki T. Quantitative atlas of membrane transporter proteins: development and application of a highly sensitive simultaneous LC/MS/MS method combined with novel in-silico peptide selection criteria. *Pharm Res.* 25(6), 1469-1483, 2008.